

Title	編集後記 1993年度三田哲学会役員
Sub Title	
Author	
Publisher	三田哲學會
Publication year	1993
Jtitle	哲學 No.95 (1993. 7)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000095-0212">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000095-0212</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

最近、薄味の料理を好むようになってきた気がする。といって塩辛い料理が嫌い、苦手というわけではない。塩味が薄いと物足りなく感じていたのが、近頃では薄味のものもおいしく食べられるようになってきたのである。年齢による嗜好の変化ということもあるが、やはり大きいのは慣れであろう。

薄味の料理に慣れてくると、それまでわからなかった、あるいは忘れていた味覚をいろいろと楽しめるようになる。肉や野菜など素材自身の持つ味わいであ

る。味の濃いものを食べているときには、塩やその他の調味料によって隠されてしまっていたのであろう。調味料は、適量を用いれば素材の味を引出し、さらに高めてくれるが、使いすぎると素材の味を殺してしまう。

さて、生活、人生を味わう場合には、何が素材で、何が調味料に当たるのであろうか。じっくりと見極めておいしい人生を味わいたいものである。

(伊東裕司)

### 1993年度三田哲学会役員

会 長	海 津 忠 雄
会 計 監 査	並 木 博
幹 事 長	間 瀬 啓 允
幹 事 (会 計)	安 藤 寿 康
幹 事 (庶 務)	鈴 木 正 崇
幹 事 (編 集)	伊 東 裕 司